



# ウェルフェア通信

Vol.7



京都市立植物園

## おおくまリハビリテーション病院が おおくまセントラル病院へ変わります



おおくまリハビリテーション病院  
院長 古川一隆

平素より、当おおくまリハビリテーション病院へのご支援、ご厚情を賜り、心より厚くお礼を申し上げます。

この度、当院は平成24年8月1日までに、現病棟の東に新病棟を増築し、150床から240床へ増床することとなりました。この増築・増床の主旨は、第一には、現在この地域で、不足している24時間対応可能な救急医療体制作りとともに、急性期医療の機能・質の向上を計ることです。第二点として、特に救急疾患の中でも不足しております、循環器内科、心臓血管外科、脳神経外科を新設し、高度の機能を有する血管治療センターを創設することです。さらに第三点として、回復期リハビリテーション病棟を96床から128床へ増床するとともに、療法士100名体制とし、ますます充実したリハビリテーションを提供するという三点であります。

救急医療体制の強化に関しましては、救急医の配置とともに、4床の救急処置室を設置し、また、夜間でも緊急手術や処置が可能な院内体制を整備中であります。急性期医療体制の強化に関しましては、循環器内科、心臓血管外科、脳神経外科を血管治療センターとして新設する

とともに、放射線科、肛門科を新設致します。

さらに、施設設備としましては、血管造影室2室、手術室を3室とし、その内1室は血管造影装置を併設したハイブリッド手術台を導入致します。検査機器も320列マルチスライスCT、1.5テスラMRI装置を導入し、検査機能の向上を図ります。急性期病棟の病床数は54床から112床、3病棟へ増床致します。

回復期リハビリテーション病棟に関しましては、現在の2病棟96床から128床に増床するとともに、3病棟体制とし、1病棟あたりの病床を減らし、少し余裕のある病棟へ編成致します。よって、療法士を100名体制とし、365日、1日3時間の集中したリハビリテーションを提供できる体制に整備して参ります。

現在、工事は順調に進行中であり、まず、6月1日には増築しています東棟が稼働予定で、8月1日には、おおくまリハビリテーション病院からおおくまセントラル病院と名称を変更し、両棟が開業の予定となっております。

私ども職員一同、地域の救急、急性期治療に貢献できる病院、急性期から回復期治療まで一貫した治療ができる病院、地域ケアの拠点となりうる病院、地域の防災拠点となりうる病院を目指して努力していく所存であります。今後とも何卒、変わらぬご支援、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



## 診療紹介

## 救急医療



おおくまりリハビリテーション病院  
救急部 部長  
佐賀 広

はじめまして。この度2月16日付でおおくまりリハビリテーション病院へ赴任してまいりました佐賀と申します。

以前、この周辺地域において脳外科医として勤務しておりました。リハビリ患者の転院においては、その当時より当院に対しての期待は大きく、また同時に非常にお世話になっておりました。この度、病院増築に際し、救急医療の強化ということでお声をかけて頂いた際には、非常に驚いたと同時に、とても責任の重いことだと感じました。というのも、以前よりこの地域においては、救急医療の不足が顕著であったからです。

では、救急医療とは何か？これは難しい問題です。実際、私にはその問いに対する完璧な答えを持ち合わせていません。ただ一つ言えることは、本当に医療を必要と

する人に対し、即座に医療を提供することであることは間違いのないと思います。そして、一人の力には限界があるけれども、複数の力が組み合わされることによって生まれるチーム医療が、救急医療の真髄であることも違いないと考えております。今後、循環器科、脳神経外科が充実されます。既存する外科や整形外科、内科に加え、これらの診療科は、救急医療とは切っても切り離せない存在です。それらと連携を組むことで、園田地区を中心とした地域の中で、確固たる中核病院を築いてゆけるものと考えております。

最後に、よく「先生の専門は？」と聞かれます。専門はもちろん“救急”ですが、一般診療科でいえば、脳神経外科（脳卒中）を専門としております。ご相談があればいつでも対応致しますので、お気軽にお声かけください。また、救急の職場は決して忙しいばかりではありません。楽しいことも織り交ぜながら、職員の気持ちを持ち上げていこうと考えております。

## 低被ばく線量撮影を可能にする320列(640スライス)CT装置について



おおくまりリハビリテーション病院  
放射線課 技師長  
伊藤 仁

## 320列CTは進化しています。

当院の320列CTは2009年4月に導入され、ちょうど3年が経過しました。最近の目まぐるしい電子機器類の進歩を考えると真新しさはなくなりましたが、この装置は現在も、バージョンアップを繰り返し最先端の技術が盛り込まれ、最前線で活躍しています。

そして、今年の初めに(2012年1月中旬)に大きな進化がありました。

今までより更に低線量撮影が可能になったのです。実際はAIDR3D(Adaptive Iterative Dose Reduction 3D)と言われる画像再構成技術(断面画像を作る技術)が搭載されたことによりです。

## AIDR3Dで被ばく線量が1/2に! (\*当院比)

AIDR3Dは低線量撮影と高画質化を両立させた最新の逐次近似応用画像再構成技術です。

ここからは少し専門的な話をしますが、逐次近似とは、Projection Data(投影データ)に対する実測値と計算値の差を比較し、補正を繰り返しながら画像を再構成していく方法です。

AIDR 3Dのアルゴリズムは、収集した投影データに対し、統計学的ノイズモデルとスキャナーモデルを用いてノイズを低減します。ノイズは画像を劣化させ診断に悪影響をおよぼします。さらに解剖学モデルを用いて、画像再構成ドメインの中で、どれがノイズでどれが本当の投影データかを見極めてノイズ成分のみを抽出、この作業を繰り返すことでノイズを除去、低減します。

通常、X線撮影やCT検査は低線量で撮影した場合、ノイズが多くとても綺麗とは言えない画像になるのですが、AIDR3Dを使うことでノイズの多い画像でも綺麗にすることが可能となりました。結果、低線量で撮影できるということになります。

実際、当院では検査時に使用する放射線量の設定条件を、胸部や冠動脈で約50%、腹部などでは約25%カットし、撮影をおこなっています。冠動脈検査を例にあげると、1心拍撮影で平均2.2mSvほどとなっており、これは日本国内で1年間で自然に浴びる放射線量(約2.4mSv)より下回る値です。また、中には0.3mSvで検査ができた患者様もいます。被ばく線量は一般的に、カテーテル検査(診断目的)は5~10mSv、64列CTでの冠動脈CT検査は15~20mSvほどと言われております。当院では、患者様が安心して検査を受けていただくために、低侵襲な検査を提供するよう最善の努力をしています。

気になる症状等ありましたら、当院またはかかりつけ医にご相談ください。被ばく線量も極力低く抑えたCTで検査することが可能です。的確な診断のもとに最適な治療を提供いたします。

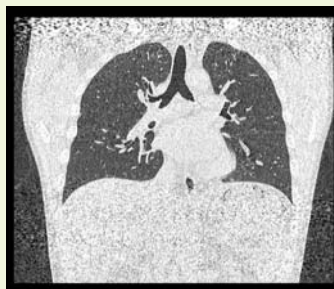


図1 胸部のオリジナル画像



図2 胸部のAIDR3D使用画像

## ハイブリッド手術室 新設

6月に一部オープンしますおおくまセントラル病院（仮称）では、新たに『心臓血管外科』を新設し、最先端医療の提供を計画しております。

心臓血管外科で最も注目されているのがハイブリッド手術と呼ばれる治療法があり、そのハイブリッド手術について説明いたします。

ハイブリッド手術とは、カテーテルを用いて血管の狭窄や動脈瘤などを治療する内科的治療法と、胸などを開いて行う外科的治療法の両者を一つの治療に組み込み、外科医、内科医などが各診療科の垣根を超えて協力して総合的に患者の治療に当たります。また、従来、開腹していた大動脈瘤の手術を開腹せずに、ステントという人工血管の一種を留置して治療することもできます。身体的負担の軽減や入院期間の短縮など『より患者様にやさしい医療』を実現するとともに、これまで困難だった高齢者、合併症患者などへの治療を可能にします。

外科的治療と内科的治療は、それぞれメリット、デメリットがあります。ハイブリッド手術はその両方の治療法を組み合わせることでデメリットを最小にし、メリットを最大にすることを可能とします。



## インドネシア看護師候補生、国家試験に合格!



3月28日に発表されました看護師国家試験において、おおくまリハビリテーション病院のインドネシア人看護師候補生 デウィ・ラツハマワティが合格しました。受験者全体の合格率は90.1%ですが、インドネシア人受験生の合格率は13.2%と低く超難関でした。平成20年の半年の語学研修から始まって、3年間の病院勤務と勉学を見事に両立させました。「苦しいこともあったけどみなさんのサポートでなんとか合格できました。とてもうれしいです!」と話しています。これからもRWGは、チャレンジする人を応援していきます。

## 部署紹介

### 老健おおくま デイケア



介護老人保健施設おおくま  
デイケア主任  
庄司 淳子

老健おおくまデイケアでは、日々40名~45名程度のご利用者様をお迎えし、ご自宅での日常生活が維持できるように、リハビリテーション・食事（昼食）・入浴・レクリエーションなどで身体機能の維持・回復を図っています。

デイケアの一日は、①ご自宅にお迎え②施設到着後、体調のチェック③入浴の提供をしながら④午前中は音楽に合わせての体操及び歩行訓練をフロアで実施します。

昼食後は、カラオケや体を動かす体操等日々メニューを変えながらレクリエーションを楽しんで頂き、おやつをご提供させて頂いてから、ご自宅へと

お送りするのですが、一日があっという間に過ぎていきます。又、毎月、季節を感じて頂けるような行事を開催し、時にはボランティアによる踊りと歌の提供、おやつレクリエーションでは、ご利用者様と色々なおやつ作りをしています。

介護報酬の改定が平成24年4月に実施され、どこの施設も新しい対策を模索する中において、老健おおくまならではのサービスを職員一同考えております。これからも、職員とご利用者様が一緒に、喜び、楽しめるデイケアを目指します。





## 平成24年度 合同入社式

平成24年4月2日、合同入社式を行ないました。今年度の新入職員は92名と、これまでで最多となり、会場もアルカイクホールに移して、盛大に執り行いました。入社式に引き続き、既卒者には1日間、新規学卒者には2日間に渡り、社会人としてのマナー、安全、品質、プ

ライバシー保護などの多岐に渡る新任教育を行いました。新入職員は、皆、真剣に受講し、活発に討議しておりました。

若い力が、グループに新しい風を吹き込んでくれるものと期待しております。



### 朗源会 ウェルフェアグループ

#### 大隈病院

尼崎市杭瀬本町2丁目17-13 TEL. 06-6481-1667

#### おおくまリハビリテーション病院

尼崎市東園田4丁目23-1 TEL. 06-4960-6800

#### おおくまクリニック

尼崎市杭瀬北新町2丁目1-18 TEL. 06-6489-0090

#### 大隈病院附属 歯科クリニック

尼崎市杭瀬本町2丁目17-1 TEL. 06-4868-8700

#### 介護老人保健施設 おおくま

尼崎市昭和通2丁目12-8 TEL. 06-6487-3900

#### 特別養護老人ホーム ほがらか苑

尼崎市東本町4丁目103-11 TEL. 06-4868-2533

#### 在宅事業部

尼崎市杭瀬北新町2丁目2-8 TEL. 06-6489-2520

#### ・ 北部事務所

尼崎市東園田町5丁目130 TEL. 06-4960-8885

#### ・ 西部事務所

尼崎市上ノ島町1丁目14-35 TEL. 06-6420-7557

#### やまびこヘルパーステーション

尼崎市北大物町15-13-103 TEL. 06-6483-5775

#### 朗源会本部

尼崎市杭瀬本町2丁目17-13 TEL. 06-6481-7711